

## 第2回 京都市ごみ収集業務の在り方検討委員会 会議録

日 時 平成 25 年 7 月 1 日 (月) 18 時 30 分～20 時 5 分  
場 所 職員会館かもがわ 大会議室  
出席者 本多委員長, 中井委員, 福岡委員, 村瀬委員, 横井委員

### 内容

#### 1 開会

#### 2 議題

##### (1) 検討のための具体的な論点について

・事務局から資料 1 について説明。

(委員) 燃やすごみや資源ごみの収集方法について, 現状が全て良いとは思わない。ごみの収集を午前中にしてほしいといった声もある。

(委員長) 全市的に午前収集がごみ収集業務のあるべき姿なのか, どのような方法がごみ収集業務として適切であるかなどについて, 市民アンケート, 他都市の状況等を把握したうえで検討する必要がある。

(委員) 資源ごみの分別品目を増やす場合には, そのリサイクル処理能力があるかどうか問題である。品目を増やしても効率的な処理ができなければ意味がないので, こうしたことを踏まえて検討しなければならない。例えば紙ごみであれば, 雑がみのマーケットが変動するため, きちんと再生処理できているか, また収集業者がペイできているかが非常に重要である。現実的なリサイクルシステムの構築が必要であり, 検討に際してはこれらに関する資料をいただきたい。

(委員) 議論のフレームワーク, 論点について, このような順番で行うことについて異論はない。できるだけ議論の時間をとるべきと考える。

(委員) ごみ収集業務については, これまで「京都市ごみ収集業務評価委員会」において貴重な議論, 評価が行われてきたのであるから, これらを踏まえて検討を進めることが大切である。

(委員長) 議論のフレームワークについては, これで良いと思う。従前の評価委員会での議論も踏まえた上で, 本委員会でも議論を展開した方が良いので, 評価委員会の議論の到達点分かるようなものを事務局で示していただきたい。

##### (2) 検討に必要な情報の収集や調査の手法について

・事務局から資料 2, 3, 4 について説明。

##### ア ごみ収集業務に係る他都市調査の実施について

(委員) 他都市が, ごみ収集業務を実際にどのように行っているのかという点について,

もっと情報収集すべきである。ごみ収集車の乗車人員、収集エリアの分け方や、各エリアの収集体制、時間別、曜日別の作業内容、また、欠勤者がした場合の交代システムや早く作業が終わった場合どのような業務をしているのかなどについて聞いた方が、実際の作業のイメージがつかみやすく、参考になると思う。

また、人口や世帯、単位面積等の指標ごととするなど、定量的な比較が可能となるようお願いしたい。

(委員長) 業務内容を列挙し、どれくらいの職員が関わっていて、どれくらいの時間数従事しているのかなどについて、本市のデータを示し、同様のデータをもらうなど、他都市と定量的に比較できるように調査する必要がある。

(委員) 各都市における公民の役割分担の基本的な考え方(理念)や背景について調査する必要がある。議論の参考となるよう、本市より進んでいるところを重点的に調べてほしい。

大阪市は全面委託の方向で進んでいるが、本市と違う条件等があるなら、どこがどう違うのかきちんと説得力のある議論をしていくべきである。

(委員) 他都市調査を行うときには、前に同じような調査を行っていることがあり、その先行調査の結果からみられる傾向は重要な情報であるため、主な項目については、今までの傾向と最新の調査結果の情報があつた方が比較できて良い。

(事務局) これまで実施された調査は、数字を追いかけたものが中心であり、今回の他都市調査では、委託率の背景にある都市の歴史や考え方を合わせてお聞きする中で、二次的にヒアリング調査も行っていく。

## イ 京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査について

(委員) これまで行ってきたアンケートと比べると、ごみ減量やリサイクルに関する市民の意識や参加意欲を問う設問等が追加されており、洗練された内容になっていると感じる。

(委員) 昨年度と一昨年度のアンケート調査の回収率を見ると40%台であるが、京都市の他のアンケート調査の回収率も同程度か。また、依頼する際、無作為に配布されているとのことだが、直接手渡したのか、ポスティングしたのかどちらか。

(事務局) 配布方法は、ポスティングである。各行政区から100世帯程度のサンプルを得るため、回収率から逆算し、3000世帯に配布している。

(事務局) 京都市において、様々な調査をさせていただいているが、回収率は平均で3割程度であり、3割を超えると市民の関心が高いというのが実態である。これに比べて平成24年度のアンケート調査の回収率は44.7%と高く、ごみ収集業務については、非常に関心が高いと考えている。

(委員) アンケートの内容について、1つの設問で2つのことを聞いているものや多少誘導的なものがあるので、適切な表現への修正をお願いしたい。また、現在の収集時間帯に満足しているのかといった質問をしてみてはどうか。

(事務局) 誘導的と思われる質問などについて、表現を検討させていただく。

(委員) アンケートにより市民のニーズをどこまでとらえられるか未知数であるため、アン

ケート以外の方法でも意見を聞くなど工夫が必要である。

#### ウ 関係団体等からの意見聴取について

(委員) ごみ減量等の取組には各団体・各学区によって大きな温度差がある。エコまちステーションの職員は良くやってくれているが、もっと地域に入って活動することで、取組が促進されると思うので、その辺りの要望等も聞いてほしい。

(委員) ごみ収集時間の現状や要望等について、ごみ減量推進会議に意見をいただき、アンケートも活用できればよいと思う。

(委員) 地域ごと、学区ごとの活動状況はどうなのか、進んでいるところと進んでいないところはどこなのかなど、地域における取組の全体像が分かればありがたい。

(事務局) ごみ減量推進会議は平成8年に設立され、一定の歴史と実績があるが、各行政区、各地域で温度差があるのは事実である。今後、地域ごみ減量推進会議が立ち上がっていない地域に対してどのようにアプローチしていけば良いかなどを検討し、取り組んでいきたい。

(委員) 関係団体等からの意見聴取は誰が実施して、誰を対象にするのか。また、具体的な質問内容等は決めているのか、自由に意見を聞くのか。

(事務局) 地域ごみ減量推進会議については、全体会議や行政区のミーティングに、また、エコ学区についても、地域で行われる学習会等に事務局が伺い意見を聞きたいと考えている。

(事務局) ごみ収集業務について、市民の方がどういった将来像を求められているのかなど、今後の方向性も聴取できるような質問内容にしたいと考えている。団体ごとにどういった内容を聞いたらいいいのか事務局で検討し、委員の皆様にも確認いただきたい。

### (3) 今後のスケジュール

- ・事務局から資料5について説明。
- ・次回委員会は、8月下旬から9月上旬の間で開催予定。
- ・委員会の中で頂戴した御意見に基づき、調査項目等を整理し、各委員に確認いただいたうえで、順次、他都市調査等を実施する。

## 3 閉会